



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度
No. 22 / Total 2318
例会：2012年2月10日
発行：2012年2月24日

RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊
副委員長 齋藤 麻美子
委員 石井 美香子
渡邊 ヒロ子

◆2月10日(金)のプログラム

小林 悠基 君(会員卓話)

◆2月の例会予定

・2月24日(ゲスト卓話)

●会長挨拶 関正己会長

こんにちは。この冬は西日本及び東北、北海道迄、大変な雪に見舞われています。3mも積もった雪を下す作業は並大抵のことでは出来ません。大変なところにきて一家の跡取りがない、若者がいない中で老骨鞭打つて無理を押しての雪かき、命を落としてしまった方々が60 猶予人と凄惨な事になっています。その意味では、千葉県、特に南房総は温暖な気候で、台風も近年上陸していない本当に住みよいところだと思います。津波の心配さえなければですが。

さて、先週、バズセッションにて行いました、月次目標の世界理解月間、皆さんいろいろと良い意見を出していただきました。ガバナー月信、ロータリーの友を購読して言える事は、ロータリーが世界平和のためにどんなことを行い、我々がどんな事を実施しているのかをもっと広く知っていただく事が必要だ、と書いてありました。

勝浦ロータリー・クラブでも規模は少し小さくなりますが、市内 或いは近隣市町村に勝浦ロータリー・クラブが地域や世界の平和のためにどんな事を行っているのか、「ロータリーってなんだろう」駅前のロータリーではない事を知っていただく為のポスター作りを進めています。少し期待してください。

●幹事報告 漆原摂子幹事

1. 千倉RCより 例会変更のお知らせ
3/23(金)の例会は、3/24(土)の夜間例会へ変更、魚拓荘鈴木屋
3/30(金)は、移動例会の予定。
2. 米山記念奨学会普通寄付下期分及びR財団「あなたも年間100ドルを」は、細則に基づき、下期分会費の中から支払終了。
3. ロータリー手帳販売の案内あり、別途FAX しますのでご希望の方はご購入下さい。

●委員会報告

◆IM実行委員会 千葉正徳委員長

本日皆さんのテーブルに1枚ずつプログラムを配布しました。実は既に誤字がありまして、見開きの2ページ目、一番下の「閉会の時間」が「16:15」となっていますが「17:45」の間違いです。当日幹事の方から皆さんへ発表していただきますけども、お許しをいただきたいと思います。13日よろしくお願ひします。

◆新世代育成委員会 渡邊ヒロ子委員長

先日も話しましたが、齋藤豊久地区委員らを通しまして、正式にライラの方申し込みが済みしました。元武道大学の野球部で、卒業して今職員をされている吉田けいごさん、そして同じく武道大学を卒業して、今こちらでボランティア活動、特にカンボジアでの支援活動をしているコビエミナミさん、そして当日は私が参加して3名で参加してまいります。一緒に参加するロータリアンは、担当は担当委員が望ましいが、5km以上歩ける人というような条件がありまして、少しその点が心配なのですが、頑張ってくださいとおもっております。あとHPの方には、前にやらせていただきました講演活動という形での東日本大震災のチャリティーコンサートの内容、そして職場体験、西川さんのところ、それからぽっぽの丘での皆さんの見学の模様などを載せてあります。また他に委員会での活動等がありましたら、写真とデータをいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

●会員卓話 小林悠基君

前に皆さんにご報告しましたと思うのですが、一昨年まだ社員になっていない時にですね、家の親父が勝浦に伝わるお話させていただいたことをきっかけに、せっかく資料が集まったのだから遠見岬神社の由緒書きを作ったらどうかなと思立ちまして、1年間かけまして、ちょうど子どもが生まれたので、子どもを撮るために買った一眼レフを使って、1年間のお祭りを自分で写真を撮りまして、こうやって由緒書きを作りました。表紙は自分では作っていないのですが、ひな祭りなんかは普段から写真を撮っている方をお願いしたりしました。それでこの由緒書きを作ったところ、昨年8月に徳島県の鳴門高校の林教諭という方と、徳島県の観光協会の理事さんが勝浦に視察に見えまして、以前から忌部氏の関係で知り合いだったので、寄ってくれたのです。それを見たところ、年末の12月11日にこういったセミナーがあるので、是非徳島県に来て話をしてくれないかというお話をいただきまして、徳島県鳴門市役所の隣にあります、鳴門地域地場産業新興センターというところで、とくしま県民活動プラザ開設10周年の協賛事業というこ

とでこういったご縁をいただきました、講演に行ってきました。

徳島県はNPO法人などを支援しているところが非常に多くてですね、とくしま県民活動プラザというのも平成14年に開設しまして、社会貢献活動を行っている団体なのです。主体的、積極的な活動を支援するということをしているようです。とくしま県民活動プラザの方からご挨拶がありました。徳島の港に活動拠点があるようです。それで講演の内容が、ちょうど今年、平成24年が、古事記が編纂されて1300年という節目にあたるということで、神主の立場として、古事記の神話と、伝承等を交えて講演をさせていただきました。

まず忌部氏というのが古代の日本において、大和朝廷に仕えて、藤原氏であります中臣氏とともに朝廷を司って、神社とか神殿の造営、お祭りなどの道具の制作などを執り行った者でございます。忌部氏の「忌」という漢字ですが、なんだか縁起の悪い名前だなと感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、この「忌」という漢字はもともと神様に対して自分の身を清めて、慎むこと。つまり清浄というのを意味していたそうです。

現在、私たち住職の世界では、神様にお供えをする時には清浄な火を使います。これを「忌火」と呼んだり、地方に立てる竹を「忌竹」と呼んだりします。日本の神話としてひとつおさえていただきたいのが、日本の神様と我々人間の関係が、作ったとかではなく生まれの関係なのですが、日本人の大元は新古から神様につながるのではといわれています。ですから私の親、そのまた親が神様に当たるということで、ご先祖様に来ていただいていると思っております。それで、伝承にもこちら奈良県の忌部町樞原神宮というのがありますのが、こちらに神武天皇が特にしたとされる場所があるのです。ここと、海を渡ってすぐ反対側、同じく忌部の神様達をおまつりする神社がたくさんあるのです。四国の阿波の国です。同じ勝浦という地名があるのですが、伝承によりますと同じ黒潮にのって勝浦を経て、こっちに来たのだという話です。昨年ですが、9月の台風12号によって、和歌山の紀州丘のおまつりの看板が流されてしまったのです。そしたらなんと、3週間かけて九十九里に流木とともにこの看板が流れ着いたわけです。

私がこの話をしたところ、徳島に物好きな方がいて、徳島の鳴門からたくさんピンを海に投げ入れてどれくらいの遠さまで着くんだろうと、そんなことをやった人が居まして、実際に着いたそうなんです。たくさんピンが10日くらいでいろんなところに着いたそうで、こういった現象の裏付けがとれると思いました。それで、この忌部の一族が上陸したのが館山です。実はここ、反町隆史さんと広末涼子さんがやっていたドラマ「ビーチボーイズ」のロケ地となっております。当時高校生が賑わっていました。そういったところに上陸したのだと、今でも伝承が残っております。

鳴門高校の林教諭は熱心に研究されていて、いろんなお話をされてきました。徳島には忌部に関わるお話がたくさんあるのだということです。阿波忌部氏が伊勢に渡って開拓をしたのだという伝承がありますが、実は伊勢志摩の方言というのは安房弁と同じだということです。他にも各地に忌部氏をまつ神社があるといいです。私なんかは文献を読んで調べただけなんですけれど、林教諭はとても行動力があって、自分でいろんなところへ行っているのです。そこで実際に写真を撮っているということで、今回写真をお借りしてきました。今度また話は千葉に戻りますが、阿波忌部氏は伊勢の方を開拓しまして、一度海を渡り天津に降り立ったという話があります。実際に今鴨川市にそういった記録もあります。勝浦にも遺跡がいくつか点在しています。

今回調べて初めてわかったことがありまして、平安時代につくられた和洋書というのには、勝浦の地名がたくさん載っていました。そして先日、名木小学校の跡地に特別養護老人ホームが建つということで、見に行きまして、その時にも遺跡のお話が出ました。話は戻って、この遠見岬神社の由緒書きですが、遠見岬神社の元の跡地は、慶長の天津波で流されてしまって、現在の地に移転したのですけれども、その100年後、今と同じような大地震で海抜してしまって、もともと昔ここが「遠見岬」と書いて岬だったそうです。元禄時代に海抜してしまってこうなったそうです。私が提案したことがあるのですが、勝浦は由緒や伝統がたく

さんある都市で、前回もお話しましたが、やはり勝浦を元気にするにはいけない、そこで、勝浦には朝市もある、神社やお寺といった由緒がたくさんあります。ですからやはり、そういったものをみんなで盛り上げていけたらなと思います。勝浦はカツオで有名ですがけれども、実は歴史も結構あるそうで、昭和天皇がご即位された年に、勝浦にご献上されたという、そういった歴史もあるのです。今、勝浦というと泊まって朝市を見て、あと見るものがないじゃないですか。なので展望台を復活させたり、見るところがいろいろできたらなと思います。

● 2月13日開催 インターシティミーティング ◆ 関 正己 会長挨拶

皆さんこんにちは。本日はリーダーをお引き受けいただきましたパストガバナー、大矢総一郎氏をはじめ第2790地区ガバナー山田修平氏、5分区の歴代分区代理及びガバナー補佐、会長、幹事、地区委員、そしてたくさんの方のクラブ会員の皆様、お忙しい中、ホストクラブ勝浦のインターシティ・ミーティングにご参加くださいまして、誠にありがとうございます。今年の冬の西日本、北陸、東北、北海道は例年の何倍かに依る豪雪に悩まされ皆さん毎日雪かきに追われ、へとへとになって限界を通り越していると聞きます。この勝浦をはじめ、5分区南房総の気候は、それとは全く違い、連日晴天が続き、とすれば今年の3・11の災害、また追いかけて福島第一原発の放射能漏れと、未曾有の災害があったことすら忘れそうな、温暖で大変過ごしやすい、豪雪地帯から見れば全く羨まれる気候です。しかしながら、職業に於いてはかなりの風評被害を受け、身に迫った毎日をお過ごしの方々も多くおられる事を決して忘れてはならないと思います。本日は勝浦ロータリー・クラブ会員、又このホテルブルーベリーヒルのスタッフ一同精一杯のおもてなしの準備をいたしました。至らぬところも沢山あるかとは思いますが、これも日ごろ皆さんと積み上げてきた絆のもとにお許しをいただき、本日のI・Mが成功裏に終了できますよう。ご協力をお願いいたしまして、歓迎の挨拶に代えさせていただきます。



講演をする三遊亭円楽師匠。笑いをたくさんとっていました。

● 2月15日開催 料理教室（勝浦小生徒参加）
（ブルーベリーヒル勝浦にて）



出席報告 2月10日（金）

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	30名	2名	5名	86.49%

欠席：浅野玄航、内田秀実、林重利、吉野裕子、渡辺保